



## 子どもが輝き、 教職員が安心して働ける学校を

### 各市町教委と校長会への要請

コロナ禍が続く中で学校が再開されましたが、依然として混乱と不安の状態が続いています。さまざまな課題が山積していますが、子どもの心身の健康を守ることが何よりも重要であり、それをともに授業や行事などの取り組みを見直すことが強く求められています。そして、私たち教職員にとっても、安心して働くことができよう、多忙化解消をさらに進めるなど、勤務条件の整備が求められています。尾北教労は、6月から8月にかけて、各市町教委と管内校長会に対して前期要請を行いました。そこで示された各市町の状況や取り組みの要旨を紹介します。今後望まれる方向性について、ともに考えたいと思います。

## コロナ対応 無理をしない

新型コロナウイルス感染症予防のために実施した一斉臨時休業に関し、学校再開後、学習の遅れを取り戻すため、夏休みの短縮や時間割の組み替え等の対応が、尾北の各市町や学校で行われています。そのことに関して、尾北教労から、「機械的に授業時数の確保を求めるのではなく、各学校の実態を踏まえた方法を尊重し、子どもや教職員にとって過重な負担とならないようにすること」を要請しました。それに対し、各市町教委や校長会

からは、「無理をしないことが大切」という見解が示されました。

さらには、市町教委によつては、「学校の意向により、全ての学校で7時間の授業はやっていない」「子どもの心と体を最優先にして考えている。カリキュラムのスリム化をして、やりやすくなった」と、明確に見解を示したところもありました。また、臨時休業中のオンラインによる家庭学習については、尾北教労として、ICT環境が不十分な家庭もあり、教育格差が拡大する危険性を指摘しました。

そして、子どもの生活や発達段階をひまえた学びを保障する上でも、オンライン学習は、多くの課題があり、今後、慎重に検

討して進めるよう要請しました。

一方、新型コロナウイルス感染予防のため、教職員は毎日、消毒作業を行うなど、本務外の業務に追われています。

これについては、トイレ清掃や消毒を業者委託したり、スクールサポートスタッフを配置したりする取り組みが、各市町において進められています。

どの学校においても、教員が教育という本来の業務に専念できるように、さらなる改善が求められています。

## 給食費 無償化進む

日本では、7人に1人の子どもが貧困状態にあると言われています。子どもの心身の健全な発達のために、各自治体での支援の取り組みが求められています。学校教育においては、給食費の無償化が挙げられ、全国各地で取り組みが進められています。尾北でもすでに、大口町では半額補助、岩倉市では、義務教育期間、第3子以降は無償という取り組みが行われています。

今回、新型コロナウイルス対応のため、6～9月内の一定期間の給食費を無償化する取り組みが、尾北のほとんどの市町で進められました。

さらには、扶桑町では、新町長の公約である「学校給食費の無償化」の実現に向け、今後検討する方向が示されました。家庭の経済格差が、子ども一人ひとりの教育格差に繋がらないよう、各自治体の取り組みが求められています。

## 作品募集

### 家庭から応募

夏期休業中の作品募集に関する業務は、本来の学校業務ではありません。

しかし、慣例で長年、学校が、作品収集・審査・名簿作成・作品梱包・発送等の業務を行ってきました。

尾北教労は、各市町教委や校長会に対し、「作品募集に関わる業務を学校で請け負わないこと」を要請しました。

今年度は、夏期休業が短くなったこともあり、ほとんどの市町において、作品募集は自由参加となりました。また、作品の審査や名簿作成といった教員の業務もなくなり、子どもも教員も負担が減りました。

さらに、犬山市では、案内文章を市のホームページから各家庭が閲覧し、応募する形式にするなど、学校が直接関わらなくてもよい方法がとられました。

こういった対応は、業務改善の観点から考えると、今年度だけでなく、来年度以降も継続し、作品収集の業務も学校が請け負わないようにするなど、改善をさらに進めることが求められています。

## LGBT対応

### 環境づくりから

犬山市では、中学校の制服を見直し、来年度から、男女ともに、ブレザー等を選択できるようにしました。

これは、性の多様性にも配慮した取り組みで、好ましい方向と言えます。

性的違和を感じていても、そのことを言えずに悩んでいる子どもや保護者もいます。そういった子どもや保護者がいることを前提に考え、安心して学校で生活できる環境づくりを留意することが、これからは求められてきます。

同時に、教職員も、LGBT（性的少数者）やSOGI（性的指向・性自認）についての理解を深めていくことが大切です。

## 教師用指導書

### 全学級に支給を

今年度より、小学校の改訂学習指導要領が本格実施となり、新しい教科書に変わり、教師用指導書についても、公費で支給されました。しかし、その支給基準は、尾北の市町によって違いがあり、現状は、以下の通りです。

- ① 朱書き・研究編とも全学級分支給（岩倉市）
- ② 主要教科の朱書きは全学級分、研究編は学年1部支給（江南市・扶桑町）
- ③ 朱書き・研究編とも2学級ごとに1部支給（犬山市・大口町）

教員は、多忙な中、短時間で教材研究や授業準備をせざるを得ないのが実態です。短時間でも、すぐに授業の準備をするための資料として、指導書が必要となっているのが実情であり、自費で購入している教員もいます。せめて小学校の主要教科の朱書き指導書は、全学級分を公

費で支給することが求められています。

## 正確な在校時間記録を 勤務時間の「上限規制」

多忙化解消に向けての取り組みで、目標とされた時間外勤務は、月80時間以内でしたが、文科省が策定した勤務時間の「上限指針」（2020・1・17）を受け、今年度からは、月45時間以内となりました。

尾北では、校長から「月45時間以内に収めないといけない」と説明され、先生によっては、とても不安になった方もみえます。また、時間外勤務を増やさないようにするために、在校時間記録を虚偽報告する問題が広がる恐れも指摘されています。

しかし「上限指針」は、教員個人を追い込むものではありません。やらざるを得ない業務が多い勤務実態こそが、大きな問題です。

業務改善のためには、勤務実態を正確に把握することが必要です。江南市、岩倉市、犬山市では、すでに、タイムカード、ICカード、PC起動終了による自動記録など、客観的な方法で取り組まれています。大口町や扶桑町では、今年度、教員のタブレット端末導入後、それを用いて客観的に在校時間を記録する方向が示されました。

また、正確な勤務時間の記録は、職員にとっては、公務災害などの際に勤務実態を証明する重要な資料にもなります。

職場全体で、正確に記録することの大切さを再確認していくことが求められています。

## 持ち時間数の軽減で 実務時間の確保を

多忙化解消のために、行事や業務の精選が行われてきましたが、学級担任の持ち時間数を軽減することも有効です。

空き時間（実務時間）が増えれば、教材研究や校務分掌の実務時間が生まれ、教員にとっても子どもにとっても良い効果をもたらします。

そのためには、教頭・教務・校務は単独で教科を担うことが求められます。少人数やTTでは、担任の空き時間確保につながりません。

尾北教労は、「当面、特別支援学級を含めた学級担任の持ち時間数が、小学校週25時間以内（1日1時間以上の実務時間《空き時間》確保）。中学校週20時間以内（1日2時間以上の実務時間《空き時間》確保）となるよう改善を進めること」を要請しています。

現状では、組合が示した目標の空き時間が、すでに確保されている学校もありますが、空き時間が少ない状況が長く続いている学校もあるなど、さまざま実態が見られます。

どの学校でも、学級担任が、授業に向けての研究や準備、さらには、学級・学年・分掌の実務など、さまざまな業務のための実務時間を勤務時間内に確保できる環境にしていくことが求められています。同時に、少人数学級・教職員の定数増・専科教員の拡充など、学校や教職員を救う施策を国や県が講じるよう、強く要請していく必要があります。

## 変形労働時間制 導入しない

政府が導入を図り、各自治体の判断で実施可能としている「1年単位の変形労働時間制」は、繁忙期の勤務時間を延ばし、夏期休業などの閑散期に休日を増やすという制度です。

しかし、実際には、在校時間記録表の時間外勤務の数字を減らすだけで、多忙化がさらに進み、退勤時刻が今より遅くなる恐れがあります。また、子育て、介護など、家庭状況により、勤務時間終了後、早く帰らなければならぬ方もみえます。

それゆえ、変形労働時間制は、教員の健康・生活・家庭にとって、深刻な状況を生む問題があることが指摘されています。

今、必要なことは、業務改善や人的加配など、多忙化解消の取り組みをさらに進めることであり、本制度のような数字の帳尻り合わせではありません。

尾北教労では、「変形労働時間制を導入しないこと」を、各市町教委や校長会に要請しました。それに対し、すべての市町教委から「現段階で導入するつもりはない」との見解が示されました。変形労働時間制を導入しないよう、今後とも注視していく必要があります。

★市町教委と校長会への要請書の全文は、尾北教労のホームページからご覧いただけます。（「尾北教労」で検索）

職場で困ったことなども、ホームページのメール等でご相談ください。